

防災講演会のご案内

本大久保ホームタウン自治会
自主防災会

～東日本大震災に学ぶ～

2011年3月11日、東日本大震災が発生、襲来した大津波は大勢の命を奪い、街という街を根こそぎ押し流しました。

今回、特別に講師にお招きした木下氏(当時地元の記者)に、家や家財を失った被災当事者として避難所、支援物資、仮設住宅、土地区画整理事業をはじめとする復興計画について現場体験を語って頂きます。我々は木下氏の住民目線からのお話を、ホームタウンの防災・減災対策に活かしたいと思います。

■ 開催日時・場所

日時:平成27年 7月12日(日) 14時～16時

場所:本大久保ホームタウン・コミュニティハウス

■ 講演内容

1. ホームタウンの自主防災計画について

2. 講演会

・講師: 木下 繁喜 氏

・演題: 東日本大震災・被災と復興
「岩手県気仙地域からの報告」

講師略歴

木下繁喜(きのした・しげき)1953年7月岩手県大船渡市生まれ。東京の出版社に2年勤務。帰郷して1980年4月に地元新聞社・東海新報社に入社、記者となる。取締役編集担当、取締役事業局長などを務め、2013年7月定年退職。2011年3月の東日本大震災では自身も津波に追われ、家や家財を失う。全国各地で震災の体験と教訓を語り伝える活動も行っている。著書に『東日本大震災 被災と復興と ～ 岩手県気仙地域からの報告』(2015年3月、はる書房)、『モスバーガーを創った男の物語 羅針盤の針は夢に向け』(2011年3月、東海新報社)。